

[重要]WindowsUpdate で公開された「CVE-2017-8516:Microsoft SQL Server Analysis Services の情報漏えいの脆弱性」について

2017年08月09日

富士通株式会社

平素は、富士通製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

08月09日にWindows Updateにてマイクロソフト社から公開された「CVE-2017-8516:Microsoft SQL Server Analysis Services の情報漏えいの脆弱性」を適用後に、基幹IAサーバPRIMEQUESTの添付ソフトServerView Operations Managerのサービスが停止している場合があります。

「CVE-2017-8516:Microsoft SQL Server Analysis Services の情報漏えいの脆弱性」を適用される際は、事前に以下の詳細をご確認いただき、記載の手順にて適用していただけますようお願いいたします。

現象

「CVE-2017-8516:Microsoft SQL Server Analysis Services の情報漏えいの脆弱性」を適用後、ServerView Operations Managerのサービスが停止します。

サービスが停止する際に、エラーメッセージ等は表示されません。

「CVE-2017-8516:Microsoft SQL Server Analysis Services の情報漏えいの脆弱性」の詳細は、以下のマイクロソフトのサイトでご確認ください。

<https://portal.msrc.microsoft.com/ja-JP/security-guidance/advisory/CVE-2017-8516>

対象ソフトウェア・バージョン

- ServerView Operations Manager for Windows V6.30.05 以降のバージョン

発生条件

ServerView Operations Manager の上記対象バージョンであり且つ、これらが使用するデータベース(※1)として、「CVE-2017-8516:Microsoft SQL Server Analysis Services の情報漏えいの脆弱性」の適用対象の SQL Server を使用している場合に発生します。

「CVE-2017-8516:Microsoft SQL Server Analysis Services の情報漏えいの脆弱性」の適用対象の SQL Server は、以下のマイクロソフトのサイトでご確認ください。

<https://portal.msrc.microsoft.com/ja-JP/security-guidance/advisory/CVE-2017-8516>

更新プログラムの適用対象の SQL Server を使用していない場合には、本事象は発生しません。

※1 ServerView Operations Manager が使用しているデータベースは以下の方法で確認することができます。

尚、今回対象となる SQL Server を同梱している ServerView Operations Manager のバージョンは、「(参考) ServerView Operations Manager がインストールするデータベース」の項を参照してください。

(1) メモ帳で、%WINDIR%\%ServerViewDB.ini を開きます。

(2) 「DbServerVersion」で始まる行を探します。

この行の「=」の右側の文字列が、使用しているデータベースのバージョンです。

例)

%WINDIR%\%ServerViewDB.ini の記載が以下のようにになっていた場合、使用しているデータベースのバージョンは SQL Server 2014 です。

```
DbServerVersion=Microsoft SQL Server 2014
```

(3) 「DbServerEdition」で始まる行を探します。

この行の「=」の右側の文字列が、使用しているデータベースのエディションです。

例)

%WINDIR%\%ServerViewDB.ini の記載が以下のようにになっていた場合、使用しているデータベースのエディションは Express Edition です。

```
DbServerEdition=Express Edition
```

回避方法

該当の更新プログラムを適用する際には、以下の手順で行ってください。

- **ServerView Operations Manager のバージョンが V7.02 以前の場合**
 - (1) [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して [OK] をクリックします。
 - (2) 以下の順で ServerView Operations Manager のサービスを停止します。
 - 1) 「ServerView Download Service」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView JBoss Application Server 7」
 - (3) 該当のマイクロソフトの更新プログラムを適用します。
 - (4) 以下の順で、ServerView Operations Manager のサービスを開始します。
 - 1) 「ServerView JBoss Application Server 7」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView Download Service」
- **ServerView Operations Manager のバージョンが V7.10 以降の場合**

※ ServerView Operations Manager インストール時に「ディレクトリサーバの選択」画面において、「既存のディレクトリサービスを使用」、及び「既存のディレクトリサービスでの承認」を選択した場合、「ServerView Apache Directory Server」は存在しません。

 - (1) [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して [OK] をクリックします。
 - (2) 以下の順で ServerView Operations Manager のサービスを停止します。
 - 1) 「ServerView Download Service」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView JBoss Application Server 7」または「ServerView ApplicationService」
 - 4) 「ServerView Apache Directory Server」
 - (3) 該当のマイクロソフトの更新プログラムを適用します。
 - (4) 以下の順で、ServerView Operations Manager のサービスを開始します。
 - 1) 「ServerView Apache Directory Server」

- 2) 「ServerView JBoss Application Server 7」または「ServerView ApplicationService」
- 3) 「ServerView Services」
- 4) 「ServerView Download Service」

問題発生後の復旧方法

上記回避方法を行わずに、該当の更新プログラムを実行した場合、以下を行ってください。

▪ ServerView Operations Manager のバージョンが V7.02 以前の場合

- (1) [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して [OK] をクリックします。
- (2) 以下の 1)~3)のサービスのうちいずれか 1 つでも停止していた場合、1)~3)の順に停止します。既に停止されているサービスは、そのまま停止しておきます。
以下のサービスのうち、存在するものがすべて開始されていた場合は、対処の必要はありません。
 - 1) 「ServerView Download Service」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView JBoss Application Server 7」
- (3) 以下の順で、サービスを開始します。
 - 1) 「ServerView JBoss Application Server 7」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView Download Service」

▪ ServerView Operations Manager のバージョンが V7.10 以降の場合

※ ServerView Operations Manager インストール時に「ディレクトリサーバの選択」画面において、「既存のディレクトリサービスを使用」、及び「既存のディレクトリサービスでの承認」を選択した場合、「ServerView Apache Directory Server」は存在しません。

- (1) [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「services.msc」と入力して [OK] をクリックします。
- (2) 以下の 1)~3)のサービスのうちいずれか 1 つでも停止していた場合、1)~4)の順に停止します。既に停止されているサービスは、そのまま停止しておきます。
以下のサービスのうち、存在するものがすべて開始されていた場合は、対処の必要はありません。
 - 1) 「ServerView Download Service」
 - 2) 「ServerView Services」
 - 3) 「ServerView JBoss Application Server 7」または「ServerView ApplicationService」
 - 4) 「ServerView Apache Directory Server」
- (3) 以下の順で、サービスを開始します。
 - 1) 「ServerView Apache Directory Server」

- 2) 「ServerView JBoss Application Server 7」または「ServerView ApplicationService」
- 3) 「ServerView Services」
- 4) 「ServerView Download Service」

(参考)ServerView Operations Manager がインストールするデータベース

ServerView Operations Manager に同梱された SQL Server を使用している場合、今回の対象となるのは以下のバージョンです。

ServerView Operations Manager for Windows V7.20.04 以降 (Microsoft SQL Server 2014Express 同梱)

※同梱の SQL Server を使用せずに、お客様で用意された SQL Server を使用している場合も対象となります。

※ServerView Operations Manager for Windows V6.31.05～V7.20.03 に同梱される SQL Server は対象外のバージョンです。